

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	超高精細 CT を用いた肺結節の検討		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2029 年 03 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で超高精細 CT (Aquilion Precision : キヤノンメディカルシステムズ社製) が撮像され、肺にすりガラス状結節が認められた患者さん		
④ 対象期間	2020 年 1 月 1 日 から 2024 年 3 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科 (先進救急医療センターを除く)		
⑦ 研究責任者	氏名	國弘佳枝	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	<p>1) 日常診療または通常の業務において、取得された情報、あるいは取得される予定の情報 (既存情報)</p> <p>症例のプロフィール</p> <ol style="list-style-type: none"> 性別、年齢 (CT 検査時)、喫煙歴、現病歴、既往歴、家族歴 診断方法 (外科的肺生検、手術レポート記載内容) CT 画像 (HRCT および超高精細 CT) 組織型・病理学的所見 (電子カルテに記載された診断結果を用いる) 病期 術後の経過 (情報を収集する期間中のカルテの記載内容) <p>2) 本研究で既存情報を用いて実施する測定、解析等を行うことで取得される予定の情報</p> <p>調査対象症例の CT 所見の検討項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 腫瘍の存在部位 (肺葉、区域) 腫瘍全体径、充実成分径 (mm)、CT 値 (HU)、体積 (mm³) の計測 腫瘍の辺縁の性状 (境界明瞭/不明瞭、不整/平滑) すりガラス成分、充実成分、内部不均一性の有無 spiculation の有無 血管変形の有無 嚢胞/空洞の有無 石灰化の有無 胸膜陥入や胸膜との接触の有無 		

	10. 肺気腫、間質性肺炎の有無			
⑨ 研究の概要	<p>原発性肺癌は日本人の癌死症例で最も多い癌であり予後不良ですが、早期診断や適切な治療を行うことにより治療成績の向上も見込める疾患です。原発性肺癌の診断にはCT、特に高分解能CTと呼ばれる検査での画像学的な評価が必須です。原発性肺癌は高分解能CTですりガラス結節、部分充実型結節、充実型結節に分類され、すりガラス結節を呈する原発性肺癌はすぐには治療適応とならずに長期的な経過観察を行うこともあります。超高精細CT（Aquilion Precision：キヤノンメディカルシステムズ社製）は従来の高分解能CTよりも高い空間分解能を有する新しい装置であり、これらの分類を含め、より詳細な原発性肺癌の画像診断が行える可能性があります。しかし、これまでには超高精細CTを用いた原発性肺癌のCT所見について、まとまった症例数を対象とした研究は少ないのが現状です。超高精細CTと高分解能CTは同一検査内で得られているCT画像で、超高精細CTの方がより高い画素数を有しています。そこで、本研究の目的は、同一の検査結果を用いて、原発性肺癌の高分解能CTおよび超高精細CTの画像学的な特徴を比較検討し、超高精細CTの有用性を評価することです。この研究により、原発性肺癌のより正確な画像診断、適切な治療方針決定につながる可能性があります。</p>			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年 5月 31日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません（キヤノンメディカルシステムズ社からの寄付金の受け入れもありません。）			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：國弘佳枝			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285